１９９２(Ｈ４)年度 夏季キャンプのまとめ

発　行　1992. 9. 27.　60部
発行者　日本ボーイスカウト京都連盟
　　京都第38団ボーイスカウト隊
印刷者　ＰＥＯＰＲＩＮＴ

非　売　品

１９９２(Ｈ４)年度

夏　季　キャンプのまとめ

テーマ「森　と　と　も　に」

サブテーマ「鵜の目・鷹の目・狸の目」

期間　Ｈ４年８月１３日～８月１６日

場所　京都市左京区静市静原町
　　静原川上流「いまみやのもり」

日本ボーイスカウト京都連盟
京都第38団ボーイスカウト隊

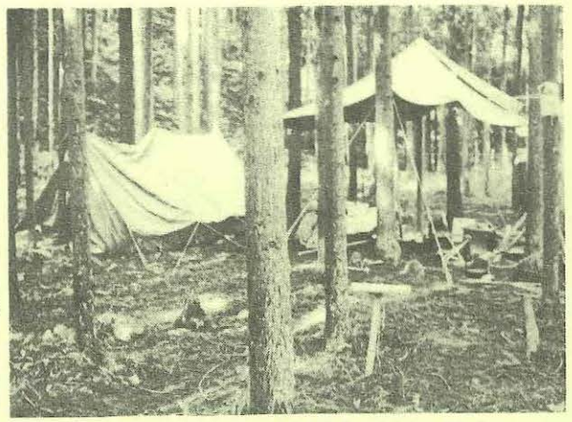
第35回夏季キャンプを、終えて

京都第二十八団
ボーイスカウト隊
隊長　下坂 直司

まず反省点として、本部側について　毎年のように　事前準備が不十分であった、また、ほとんどの物を用意してもらっていたが、S.S隊S.Mとの打ち合わせ不十分もあり　不足品が多数あった、次に、事前準備が隊リーダー1人という事もあって完全にはできなかった、事前の打ち合わせも上班、隊付がベンチャーに参加していたので何一つ完全な事は、なかった。　スカウト側としては、非常に元気がない、個人的には、別にそういう訳でもなかったのだが　朝礼などセレモニーになると声がでていない、個人的な反省として、自分が退院まもない事もあってサンポ OBの方々や父兄の皆様に、援助して頂き　隊長である自分がキャンプ全体の（配給、備品、食事）主旨を理解できていなかった。主催する側の人間として　大変申し訳なく思っております。　非常に短かいキャンプでしたが　たくさんのOBの方々に来て頂き　たくさんの御指導をして頂き、大変身についたと思います。又、スカウト達に教える事よりも、自分が教わった事の方が多かったと思います、まだまだ　これから物事を教わっていく身です　これからも　よろしくお願い申し上げます

ありがとうございました。　　弥栄

雨の少ない夏、初日にわざわざ降ってくれたました、短パンツにはき替えて、川を渡り、サイト入り。これによって短い期間のキャンプが充実して始まった。でも、雨の設営は大変だ。

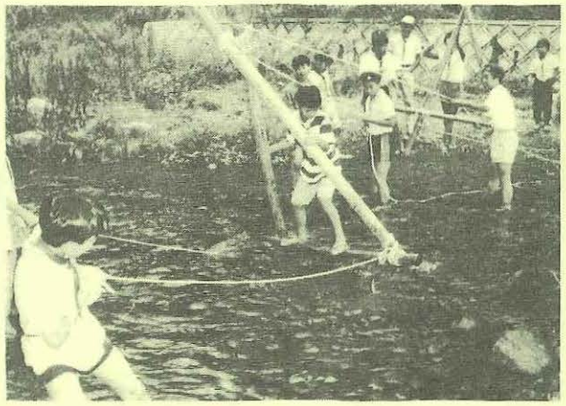


このテントのみすぼらしさは、なんと言おうか、一応サイトの狭さからと言うことにしとこ。

毎晩、班長会議は遅くまで続いた。
手前にいる上班、隊付もご苦労さん。

大雨で川の増水で一番危うかったのは隊本部。

山から湧き出る水場。この水は生で飲まないようにと注意はしてあったが…。



２日目午後の隊集会。午前中の班集会の成果が出たでしょうか？
隊集会の優秀班は「鯱班」

第35回 ボーイ隊夏期キャンプの反省　　平成4年度 上班

伊藤良宗

ほんと今回は反省ばかりのキャンプだったような気がします。一番の反省はもちろんハイキングですが、このことは十分反省しましたので、省略します。その他には、各班への配慮が不十分だったことです。できる限りのことはやったのですが、もう一つだったように思いました。今回初めて本部として隊キャンプに参加しましたが、スカウト時代に思っていた状況とは全々違い、けっこうつかれました。しかし、とてもいい経験になったと思います。

来年に向けて

R.S 末吉敦周

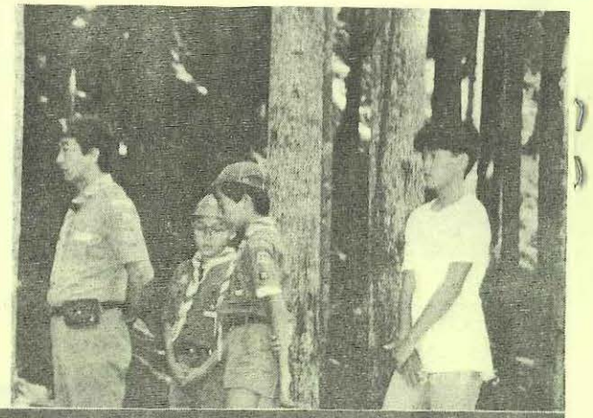
"お疲れ様でした"って言いたいところですが"スカウトのみなさん、一度来年のキャンプをイメージしてみてね。いかが"ですか？「こんな生活しょ」「こんな○年目になる」「こんなハやや～」って具合に…。"どうして今なん？せっかく終ったとこやのに"と言ってると思うけど　今やからできるんやで？今やからハハイメージができるんや。これがもし来年の7月やてみ、今年の苦しみ楽しみなんて薄れてしまって　二の舞キャンプになるやろね。だから、忘れてしまわないうちに…ってことなんやで　わかったか？

それともう1つ　色々不安が多かった1年目スカウトにアドバイス。「今年は初めてやし、水くみ、まき拾いしかできひんけど自分のできる限りやった。それでも班の足ひっぱらな」というスカウト、なにもくやんだりする必要はぜんぜんないよ。できないことさせるキャンプなんてどこにもないし、最初から何でもできる人だっていない。僕も班長だってな～んもでけへんかったよ。キャンプなんて単なる発揮の場なんやで。1年間どれだけ技術が高まったかって自分がどこまで自然の中で通じるか確認する場でしかないんや。だからキャンプ始まってから何しよって言うのは手遅れ！じゃあどうするか？先輩スカウトをつかうんや。ロープ、手旗、火起し、料理の仕方から、どーせ見つかるおかしのかくし方まで何でもまいたらええやん。わかったか？今のうちやで！来年はもう2年目の夏やぞ。そしてまた今の君たちと同じ立場で入ってくる1年目がいることを忘れるんじゃないよ

彼らもできる限りの力をアピールしようとしているのだから…

３日目朝礼。なぜかみんな眠たそう。

カブ隊長につれられて、熊スカウト２名（中川君、北野君）とＢＳ入隊見学の平田君。が朝礼から参加。この日のハイキングがどうなるかは、この時点で知るよしもない。



道に迷ったハイキングのおかげで21:10より始まった大営火。疲れも見せず、中村リーダーの進行で隊付も頑張る。

なごりはつきねど…。ようやく最後の晩も終わりに近づいた。みんなからは、『３泊４日とは、思えないねえ、１週間ぐらいここにいるようで』

ともかくハイキングの優秀班は「鷲班」に。

４日目当番班は野牛班。当番班心得を読み上げています。

撤営「やっとかえれる」

早いのが…。の鷲班。班長・次長川を渡る。

表彰一覧

第１日目の優秀班は「野牛班」

第２日目の優秀班は「鯱班」

隊集会の優秀班は「鯱班」

第３日目の優秀班は「鷲班」

ハイキングの優秀班は「鷲班」

総合優秀班は「野牛班」

個人優秀賞は鯱班の「月里達也君」

隊付　出口浩平

3泊4日という短い期間での静原でのB.S隊のキャンプが無事終わった。僕にとってはS.Sとしてこのキャンプに参加したが、今ようやく本部とはいかにたいへんなのかを知らされた。B.S隊の時は、本部はいいなあという思いでいっぱいだったけれど、この3泊4日の間でどれだけしんどいかということを知らされた。8月13日～16日の間で、印象に残ったことがいくつかある。初めてリーダーとして、企画した、夜間ゲーム（未覚人情報）、これでは、企画してから実行するまでどれだけの準備と苦労が必要なのか自分の身をもって知らされた。また就寝後のスカウトの身回りでは、自分がB.Sの頃リーダーの苦労がわかったように思う。慶の3日目とB.S隊ではいわるキャンプ第3日目では、B.S隊全員がハイキングで道に迷うハプニングが起こった。これによってリーダーも、B.S隊もとんだ目にあわされてしまった。なにをかくそう僕もとんださいなんにあわされたのだ。山の中沈む太陽はまってくれず、真っ暗の中、僕は、大ケ糸でおいてきぼりをくった。今となっては笑い話で終わってしまうがその時、僕には笑い話ではなかった。このキャンプの中で学びとったことを今後のキャンプでS.S活動にいかしていきたいと思う。つかれたな～～。

第5回ボーイ隊夏季キャンプの感想

隊付　八木立夫

今回、初めて隊キャンプに隊付としてキャンプに参加しました。今まで思っていた本部とはかなり異っていて、がっかりしたような気持ちでした。1日目の朝、雨が降っていて川が渡れなかったり、3日目、ハイキングで迷子になったりして、自然はすごいと改めて実感しました。これからは、より良いキャンプができるようにがんばっていきたいです。

閉村式。

帰りは足取りも軽く…。

ＢＳ隊長の名誉？の傷跡。

お母さん方にお世話になった配給品の班毎の仕分け。

調味料は小瓶等に小分けしたが、他の購入品も含め多いものや使わなかったものなどあり、再検討を要す。

久々に参加して

中村　三之助

８月１４，１５日の１泊２日だけの当日参加だけで、今のサンパチのことを何かともの申すのは余りにもおこがましいことであることは分かっておりますが、ご容赦頂き、若干感想を述べさせていただきます。

まずは、自分自身久々の隊キャンプということで何か新鮮な、ウキウキした気持ちで参加でき、うれしく思っております。キャンプ地としては決して良い所とは言えませんが、３泊４日という短期間では静原という近くでせざるをえなかった事情は仕方なかったと思います。本来ボーイのキャンプは、５泊以上でないと実り多いスカウトキャンプはできないものと思っております。

参加中のプログラムでは、パイオニアリング、夜間ゲーム、ハイキング、営火が行われました。それらの中で、全体に感じたことは、事前準備（打合わせ、物品など）が不十分だった為、ゴテにまわってしまったことが残念に思います。せっかくいいプログラムを立案しときながら、スタッフ間の共通理解が不十分なまま実施し、結果参加スカウトに迷惑をかけてしまうということはあってはいけない事であろう。もっと一人ひとりが自分の与えられた責務を責任をもって果たすというシビアーな自覚と隊の気風が必要なのではないかと感じました。和気あいあいというムードは昔からのサンパチの特徴であり良い面であったと思いますが、やるときはビシッときめる！というところも特徴であったと思います。

昨今、ボーイスカウト教育が再度見直されてきている中、一人ひとりがもっと自信をもって今自分が取り組む事は何かをはっきりと定め、スカウト活動に邁進していかれることを期待し、共にはげんで行きたいと思います。

シニア隊　副長　角井輝信

先発隊よりの前日、８月１３日、１６日の参加で、特に裏方参加で有りましたが、「そなえよ、つねに」という標語をスカウト諸君、私も含めどこかに置き忘れてしまっていたのではないでしょうか、大自然での数日間に至る、野外生活を行うときの準備、隊キャンプを終わってからの反省がつぎのステップと成ることを期待します。隊、班活動を出来るかぎり野外で行い自然の泣いたり、笑たり、怒たりすることに、より多く接する事でスカウティングがより楽しくなるのではないでしょうか、経験を越えられる乗り物は、自然界には、無いように思います。

又、今回特に感じたのは、どの班かわからなかったが、パトロールシステムをどこかに忘れて来ているのかなと思えたりする時があった。これも常の班、隊集会の積み重ねによるものであるから。集会には出来るかぎり参加し、スカウトどうしのコミニケーションを数多く取れる努力を考えよう！

キャンプ場での支援者一覧
（敬称略）

吉田浩規、角井輝信、八木生次、
高橋宏樹、丹羽雅義、中村三之助、
入矢徹雄、今井喜明、末吉敦周、
末吉千鶴子、榎本信也、松野保一、
下坂団委員長、丹羽副団委員長、
末吉央伯

いつもなら翌日に行なう備品整理を続けて行なった。気が抜けないうちで約１時間半で終了。全員が参加できてこれもまたよし、との結果となった。

隊キャンプを支援して。　　末吉央伯ＳＳＬ

ＢＳ隊長が交通事故でけがをしてしまったという事態が発生して３ヵ月、７月の末にようやく退院、経過は良好という事とは喜ばしいし、隊キャンプに参加できるというのも嬉しいことであった。しかし退院したてで準備不足、上班・隊付は３ＮＶシニアー大会で打ち合わせ不足と、気の毒な状態で進められたことは、様々な影響を及ぼしたが、反省・評価は今後に期待できるものとなったことを、まずもって喜びたいところである。

私自身も期間中、お盆と重なって、準備と先発、後半の15・16日だけキャンプ場に出向いた。久々の隊キャンプで、年代感覚のギャップと言おうか、期待はずれと言おうか、進化は期待してはいなかったが、後退している感をうけたのは、私を含めた年輩リーダー達であったようである。といって今のスカウトが駄目だと言っているのではない。とにかく何事においても、知らなさすぎるのである。知らないことをやってみろとは言うに言えないからねえ。

ボーイスカウトの創始者「ベーデン・パウエル」（略してＢ－Ｐ）は、『新米（テンダー・フットという）はキャンプで不便さをこぼす』と述べ、創意と工夫が次第しだいに身に付いて、ベテランキャンパーとなって行く過程を、Ｂ－Ｐはスカウティングの活動の中に組み入れたのである。でも今のスカウトは、不便さをこぼすということより、不便さを喜びはしないが一面楽しんでいるようにも見受けられる。夜遅くまで起きていたりして、朝食が出来なかったり、お菓子類を隠し持って行くことに楽しみを見つけたり、ウォークマンなどにこだわったたり、今回のテーマ「森とともに」はどこにいったんだろう。みんなといるのは楽しいが、森の中はいやだ。とみんなの本音を感じたのである。

これはなぜだろうと考えると、わずか３ヵ月ほどではあるけれど、隊長代理を引き受けて感じたことは、一つに、何事も受身の状態の事があまりに多く見受けられたというところである。積極的なものはあるか？塾？クラブ？でもそれは、サボるとキツー怒られるからではないのか？班集会の欠席でも、理由は塾やクラブ活動が「葵の御紋」のようにまかり通る。もちろん今までが思い立ったかのように、班長から２日ほど前の夜に電話連絡で班集会が案内されることが原因でもあった。そこで計画性を損なっていると、隊の機関誌を復活し、次の月の班集会の予定一覧をつけて、計画することの必要性や、責任感を呼び起こそうと試みたが、短期間では成果も期待薄というもの、受身の状態は家庭環境にもあるようで、やすやすとは変わってはくれないものである。

もし、ロープ結びが出来て、野外料理が上手で、一人でテントが建てられ、読図が好きで、簡易測量なども出来て、草木の名前をたくさん知っていて、鳥の鳴き声がわかるなどスカウト技能が身に付いていると、まずキャンプすることに困らないだろう。でも本当のキャンピングは、さらに創意と工夫が加わって初めて本物となるのである。そのためには観察する力、サブ・テーマの『鵜の目・鷹の目・狸の目』がいるのである。今のところサンバチには本物のキャンピングはないと思う。完成するには少々時間がかかるとも思う。

あきらめないで築き上げて欲しいと願う今日このごろである。　　び。

コール

全員集合 —— ・・・・

班長集合 —— ・ ——

当番班集合 ・・ —— ・・

本部集合 ・ —— —— ——

上班集合 ・ —— ・

配給 —— ——

起床・消燈 ——

国旗降納 ・—— ・

name _____

35th
SUMMER
CAMP
in
SHIZUHALA
1992

8.13~16

日本ボーイスカウト連盟
京都第38団 BS隊

第35回ボーイ隊夏季キャンプ 実施要項

- 実施年月日　平成四年(1992)八月十三日(木) 〜 十六日(日)
- 実施場所　京都市左京区静市静原町　静原川上流
  「静原の里　いまみやの森」
- 主　催　京都第三十八団々委員会
- 主　管　京都第三十八団 ボーイ隊々本部
- 責任者　京都第三十八団ボーイ隊々長　下坂直司
- 本部
  隊長　下坂直司(総責任、会計、健康安全)
  副長　末吉央伯、角井輝信、中村三之助(炊事)
  上班　伊藤良崇(スカウト統括　行事企画　運営)
  隊付　出口浩平、八木立夫(配給、行事企画、運営)
- メインテーマ　「森とともに」
- サブテーマ　「鵜の目、鷹の目、狸の目」
- 緊急連絡先　末吉央伯 S.S隊副長宅　441-5303
  角井輝信 ポケットベル　075.838.1515
  角井輝信 ポケットベル　06.250.3439
- 先発隊集合　8月12日 午後2時　ハウス長休
- 本隊集合　8月13日 午前9時　出町柳
- 解散予定　8月16日 午後5時30分　ハウス長休
- 交通機関　京都バス

BS隊 キャンプ個人荷物点検表 (3泊)

分類	品名	数量	check	分類	品名	数量	check
制服	スカウトユニフォーム	一式		洗面具	ハブラシ	1	
	運動ぐつ	1			はみがき	1	
	ハンカチ、ティシュ	1			タオル	1〜2	
	予備ガーター、くつ下	各1			石けん	1	
	スカウト手帳	1		灯具	懐中電燈	1	
衣類	下着	3			予備電池(まめ)	1	
	長ズボン	1〜2			ろうそく	1〜2	
	長そでシャツ	1〜2			防水マッチ	1箱	ライター不可
	半そでシャツ	5〜6		修理具	針and糸セット	一式	
	くつ下	3〜4			ボタン	1〜2	
	防寒具	1			はさみ	1	
	パジャマ	1			かえひも	1	
	作業着	2〜3		その他	古新聞(朝日)	2日分	
	シュラフ	1			細ひき(麻ひも)	2	
	マット	1			つめ切り	1	
訓練具	ロープ	2			持薬	あればもってくる	
	雨具(カサ/ダメ)	ポンチョ1 カッパ1			ナイロン袋	2〜3	
	ナイフ(合格者)	1			ナイロンふろしき	1	
	地図作業具	1			ハンカチ(予備)	3	
	軍手	3〜4			はなかみ(〃)	4〜5	
	筆記具	1			米	8合	
	手旗	1			弁当	1食分	
	ホイッスル、解読表	各1			水筒	1	
	救急用具	一式			防虫スプレー	1	
食器	食器、武器	一式			かゆみ止め	1	
	コップ	1			ぞうり	1	
	ふきん	1〜2			半パンツ	2	

ボーイスカウト京都第３８団 夏季 隊キャンプ 1990・8・13(木)～8・16(日) 場所 京都市左京区 静市 静原 いまみやの森

時刻	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
		00	40 00	30 45 00	15 30 00	30 45			00	00	00 30	00 30	00 30	00 30	00	
第1日 8月13日(木)	先発 ○水場整備 ○本部サイト設営 ○国旗掲揚柱設置 ○トイレ掃除 12日午後2時 トラック積み込み		集合 出町柳 個人荷物積込 ~~09:40~~ 10:40 バス発	静原校前着(約２km) 徒歩移動 トラック荷下ろし	開村式 昼食 キャンプ場 当番班任命 バス下車	設営について	設営	開村式	プログラム①		国旗降納 夕食		プログラム② 夕食準備		班長会議 就寝	消灯
担当	ＳＭ 上 八 出 角		角 ＳＭ 上	上 角	隊本 進歩記録帳を預る	ＳＭ			配給 上		上		上八出		隊	
備考					昼食=持参「弁当」 夕食=「　」						献立=「スカウト活力煮」					

時刻	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	00	00 30	00		00	30	00				00	00 30	00	00	00 30	00	
第2日 8月14日(金)	起床 洗面	炊事 点検 講評 朝礼	プログラム③		昼食		午睡	プログラム④ 水筒し 弁当カゴ 入浴				国旗降納 夕食		プログラム⑤ 夜間訓練。		班長会議 就寝	消灯
担当	配給		上八	配給				上八		配給		上		出		隊	
備考	献立=「スカウト定食Ｉ」				献立=「炊込ご飯」							献立=「スカウトシチュウ」					

時刻	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	00	00 30	00		00	00					00	00 30	00	00	00	00 30 00	
第3日 8月15日(土)	起床 洗面	点検 講評 朝礼	プログラム⑥ ＣＳ上進スカウト５名受け入れ プログラム⑥⑦⑧参加 （弁当・水筒持参要請）			ハイキング ① 10:25 鷺 ② 10:50 野牛 ③ 11:05 ワシ		プログラム⑦				国旗降納 夕食		プログラム⑧		班長会議 就寝	消灯
担当	配給		敦 隊本							配給		上		三 隊本		隊	
備考	献立=「スカウト定食Ⅱ」 昼食分も炊く				昼食=「弁当」							献立=「弥栄晩餐」					

時刻	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	00	00 30	00		00	00			30 00	00 20	00	00	00	00	00		
第4日 8月16日(日)	起床 洗面	点検 講評 朝礼	プログラム⑨		昼食	撤営			閉村式 徒歩移動 帰路	長休寺着 備品整理		翌17日反省会					
						トラック積み込み				トラック荷下ろし							
担当	配給		隊本	配給													
備考	献立=「スカウトおきて汁」																

献　立　表

ボーイスカウト京都第３８団 '92夏キャンプ静原

	朝　　食	昼　　食	夕　　食
献立名		弁　　当	スカウト活力煮
調理時間			１時間
８月13日（木）	★調理時間とは副食の調理に要する大体の目安としての時間。火起、炊飯、後片付の時間は含まれていない。	持参「弁当」 先発分「ホカ弁」購入 （お茶）	①肉じゃが ②ごまあえ ③ワカメの酢の物 ④香のもの ⑤お茶
献立名	スカウト定食Ⅰ	炊き込みご飯	スカウトシチュウ
調理時間	１時間	３０分	１時間
8月14日（金）	①味噌汁（豆腐） ②丸干し ③卵焼き ④香のもの ⑤牛乳	①しめじご飯 ②白湯スープ ③キュウリの酢の物 ④香のもの ⑤お茶	①クリームシチュウ ②フルーツサラダ ③ソテー（サンド豆） ④香のもの ⑤お茶
献立名	スカウト定食Ⅱ	弁当（09:30までに）	弥栄晩餐
調理時間	１時間	３０分	１時間30分
８月15日（土）	①味噌汁（ワカメ） ②みりん干し ③納豆 ④香のもの ⑤牛乳	①おにぎり ②牛肉のうま煮缶詰 ③味付け海苔 ④梅干し・塩昆布 ⑤お茶	①鮭のホイル焼き ②ボイルソーセージ ③コーンスープ ④野菜サラダ ⑤フルーツ
献立名	スカウトおきて汁	オープンサンド	
調理時間	１時間	別　支　給	
８月16日（日）	①薩摩汁 ②土佐あえサラダ ③工夫炒め ④創意酢の物 ⑤香のもの	①スライスハム ②トマトサラダ ③スライスチーズ ④ジャム・マーガリン ⑤牛乳　⑥食パン	

献立材料の配給量（班員数６人分）　★印＝後日分も含む

★　材料については、次に使う分も配給されているものもあるので、よく確認する。

第１日目配給品（１６：００）

牛肉	３００ｇ	
ジャガイモ	１．５kg	★
玉葱	２kg	★
人参	１kg	★
糸こんにゃく 大	１袋	
ほうれん草	３把	
すり胡麻	５０ｇ	
生ワカメ	１袋(300ｇ)	★
しらす干し	１袋(100ｇ)	
たくあん	２本	★

第２日目朝配給品（０６：００）

豆腐	１丁	
万能ネギ	１把	★
えのき茸	１袋	
鰯の丸干し	１２匹	
鶏卵	１２個	★
キューちゃん漬け	１袋	
牛乳(常温保存型)	１３ﾊﾟｯｸ	★

第２日目昼配給品（１１：００）

しめじ	１パック	
油あげ	１枚	
白菜	１／８個	
生シイ茸	３個	
キュウリ	３本	
野沢菜漬け	１袋	★

第２日目夕配給品（１６：００）

豚肉	２４０ｇ	
クリームシチューの素1.5箱(６人前)		
サンド豆	２パック	
バナナ	３本	
リンゴ・レタス各	１個	★
花らっきょう	１袋	

第３日目朝配給品（０６：００）

アジのみりん干し	３枚	
納豆小パック	３個	
牛肉のうま煮	２缶	(250g)
味付け海苔	１２袋	
梅干し	１２個	
塩昆布	６０ｇ	

第３日目夕配給品（１６：００）

生鮭	６切れ
ボイル用ソーセージ	１２本
キャベツ	１／４個
マヨネーズ小	1本
レモン	１個
バター	1/8ﾎﾟﾝﾄﾞ
コーン缶詰め	１缶
キュウリ・トマト	各３

第４日目朝配給品（０６：００）

豚肉	１２０ｇ
薩摩芋	３本
花鰹パック	３袋

第４日目昼配給品（１１：００）

ハム(真空ﾊﾟｯｸ)	１袋	ﾏｰｶﾞﾘﾝ 小	６個
トマト	３個	牛乳	６ﾊﾟｯｸ
ｽﾗｲｽﾁｰｽﾞ	１袋	食パン	24切れ
苺ジャム	小１瓶		

献　立　案　内　Ⅰ　　ボーイスカウト京都第３８団

	No.	６人前材料	１人前目安	調味料	調理具	備　考
スカウト活力煮		肉300ｇ人参300ｇ	50ｇ	ダシの素		次も使う
調理時間　１時間	①	ジャガイモ600ｇ	100ｇ	みりん	大鍋	
		玉　葱　600ｇ	100ｇ	醤油		砂糖を控え目に
①肉じゃが		糸こんにゃく(太)1袋	1/6袋	砂糖		
②ごまあえ	②	ほうれん草 2把	1/3把	塩	小鍋	湯で過ぎないように
③ワカメの酢の物		すり胡麻 50ｇ	8ｇ	醤油		
④香のもの	③	生ワカメ1/3、しらす干し1/2	1/18, 1/6	酢・砂糖	ボール	次も使う
⑤お茶	④	たくあん 1/2本	1/12本		Ⅲ	残り後日
スカウト定食Ⅰ		豆　腐 1丁	1/6丁	ダシの素		次も使う
調理時間　１時間	①	万能ネギ 1/2把	1/12把	味噌1/4袋	大鍋	次も使う
		えのき茸 1/2袋	1/12袋			残り後日
①味噌汁（豆腐）	②	鰯の丸干し12匹	2匹		竹の棒	あぶる
②丸干し	③	鶏　卵 6個	1個	塩	フライパン	
③玉子焼き		生ワカメ少々				残り後日
④香のもの	④	キューちゃん漬け1袋	1/6袋		Ⅲ	
⑤牛乳	⑤	200cc 6パック	1パック			常温保存型
炊き込みご飯		しめじ 1パック	1/6パック	ダシの素		朝食後、米を洗って
調理時間　１時間	①	油揚げ 1枚	1/6枚	醤油	大鍋	水きりをしておく。炊
		人　参 180ｇ	30ｇ	塩		くとき少し水を控える
①しめじご飯	②	白　菜 1/8個	1/48個	コンソメ	小鍋	薄切り
②白湯スープ		生しい茸 3個	1/2個	塩・コショウ		細切り
③キュウリの酢の物	③	キュウリ 3本	1/2本	塩 ・ 酢		塩もみ
④香のもの		しらす干し1/2袋	1/6袋	砂糖	ボール	水洗い
⑤お茶	④	野沢菜漬け1/2袋	1/12袋		Ⅲ	残り後日
スカウトシチュウ		豚肉 240ｇ	40ｇ	塩・コショウ		最初に肉を炒める
調理時間　１時間		じゃがいも・玉葱 各 600ｇ	各100ｇ	シチュウの素	大鍋	
	①	人　参 300ｇ	50ｇ	コンソメ		
①クリームシチュウ		牛乳200cc1パック	1/6パック			常温保存型
②ソテー（サンド豆）		クリームシチュウの素 6人前	1人前			(7皿分パック)
③フルーツサラダ	②	サンド豆 2パック	1/3パック	サラダ油	フライパン	サッと炒める
④香のもの	③	バナナ3本、リンゴ・レタス1個	左記1/6	酢・サラダ油	ボール	
⑤お茶	④	花ラッキョ1袋	1/6袋		Ⅲ	

献　立　案　内　Ⅱ　　ボーイスカウト京都第３８団

	No.	６人前材料	１人前目安	調味料	調理具	備　考
スカウト定食Ⅱ	①	生ワカメ1/3袋	1/18袋	ダシの素	大鍋	残り夕食に使う
調理時間　１時間		玉　葱　300ｇ	50ｇ	味噌1/4袋		
	②	アジのみりん干し3枚	1/2枚		生の枝	あぶる
①味噌汁（ワカメ）		納豆100gパック 3個	1/2個	醤油		
②みりん干し	③	鶏　卵 3個	1/2個		ボール	
③納豆		万能ネギ 1/3把	1/18把			残り夕食に使う
④香のもの	④	たくあん 1/2本	1/12本			
⑤牛乳	⑤	200cc 6パック	1パック			常温保存型
弁　　当		おにぎり		酢	大鍋	酢を入れて炊く
調理時間　３０分	①	(各自の米)	(各自の米)	塩	サラン	(腐敗防止)
					ラップ	5cc/5合
①おにぎり	②	牛肉のうま煮2缶	1/3缶			携行
②塩鮭	③	味付け海苔12袋	2袋		サランラップ	
③味付け海苔	④	梅干し12個	2個		に包んで	
④梅干し・塩昆布		塩昆布 60ｇ	10ｇ		にぎる	
⑤お茶	⑤	お茶(当初支給品)				水筒
弥栄晩餐	①	生鮭6切れ	100g	塩・コショウ	ホイル	包んで焼く
調理時間　1時間30分		レモン1個　玉葱1個	各1/6個	バター1/8P		鮭の下に敷
①鮭のホイル焼き	②	ソーセージ 12本	2本	塩・コショウ	小鍋	ゆでる
②ボイルソーセージ		キャベツ1/4個	1/16個	マヨネーズ		千切り
③コーンスープ	③	コーン缶詰め1缶	1/6缶	塩	中鍋	
④野菜サラダ		コンソメスープ素				
⑤お土産？	④	キュウリ2本　トマト2個	1/3、1/3	塩	ボール	
		レタス1/3	1/20	マヨネーズ		
スカウトおきて汁		残った材料で工夫				
調理時間　１時間		？				
	①	豚肉120ｇ	20ｇ	味噌		
①薩摩汁		薩摩芋 3本	1/2本	ダシの素	？	残すは
②土佐あえサラダ	②	花鰹パック 3袋	1/2袋	醤油		感謝のみ
③工夫炒め	③	？		サラダ油		
④創意の酢の物	④	？		酢		
⑤香のもの	⑤	野沢菜漬け1/2袋	1/12袋			

８／１１修正版

ボーイスカウト京都第３８団 '92夏キャンプ静原

先渡し支給品目

第１日目支給品（設営の資材配給時）

調味料等消耗品

味噌1kg、塩150ｇ、酢300cc、サラダ油300cc、醤油150cc、バター50ｇ、本だし４袋、
コンソメ(小)1箱、 ｺｼｮｳ(小) 味の素1袋、マヨネーズ(小)１本、砂糖１kg、
ほうじ茶バッグ24袋、ｲﾝｽﾀﾝﾄ珈琲(小)、クリープ(小)、紅茶ﾃｨｰﾊﾞｯｸﾞ10袋、
ｻﾗﾝﾗｯﾌﾟ1箱、ｱﾙﾐﾎｲﾙ1箱、台所洗剤(無りん)1本、ホーミング1本、蚊取り線香小１箱、
亀の子タワシ1個、ｽﾎﾟﾝｼﾞタワシ2種、 ビニール袋10枚、ゴミ袋10枚、水切り用10枚
ティシュペーパー1箱、ノート

支給する隊備品

ポリバケツ2、ポリタンク(10ﾘｯﾄﾙ)2、ザル大1小1、洗面器1、
万能ノコギリ1、小型スコップ1、十字鍬(ｼｭｳ=ｸﾜのこと)、1、コンパネ(3×6)1枚

班用

竹 太２ 細５（事前配給分）
班の荷物 コンテナ 大２ 小１ テント（鷲・野牛＝10人用各１，鵺＝６人用２）

隊本部用

殺虫剤１本(428.-)、消臭剤１本(475.-)、トイレットペーパー12個(490.-)、
荷造り用ロープ１巻(1140.-)、発泡スチロールの箱５個、
訓練資材＝一味(75.-)、七味(75.-)、からし(98.-)、わさび(98.-)、
縛材９本（２ｍ×６、1.5ｍ×３）、
板(15cm×60cm、早カゴ用)３枚

８／１１修正版

先渡し支給品目一括購入量

ボーイスカウト京都第３８団 '92夏キャンプ静原

	品　目（調味料等消耗品）	購入量	備　　考	単価	小計	済
1	味噌1kg(パック入)	４kg	各班１パック	@398	1592	○
2	塩150ｇ	800ｇ	小瓶に分ける		135	○
3	酢150cc	0.9ﾘｯﾄﾙ	小瓶に分ける		388	○
4	サラダ油200cc	0.7ﾘｯﾄﾙ×２	小瓶に分ける		－	結より
5	醤油150cc	１ﾘｯﾄﾙ	小瓶に分ける		288	○
6	バター50ｇ	200ｇ	小瓶に分ける		288	○
7	本だし４袋	8g16袋入1箱	各班４袋		358	○
8	コンソメ(7個入)1箱	４箱	各班１箱	@108	432	○
9	ｺｼｮｳ(20g入)1瓶	４瓶	各班１瓶	@158	632	○
10	味の素(60g)1袋	４袋	各班１袋	@140	560	○
11	マヨネーズ(300g)１本	４本	各班１本	@223	892	○
12	砂糖１kg	４kg	各班１kg１袋(空缶入)	@198	792	○
13	ほうじ茶ﾃｨｰﾊﾞｯｸﾞ24袋入１箱	４箱	各班１箱	@280	1120	○
14	ｲﾝｽﾀﾝﾄ珈琲(50ｇ)1瓶	４瓶	各班１瓶	@318	1272	○
15	クリープ(85ｇ)1瓶	４瓶	各班１瓶	@238	952	○
16	紅茶ﾃｨｰﾊﾞｯｸﾞ10袋	50袋	各班10袋		398	○
17	ｻﾗﾝﾗｯﾌﾟ1箱(20ｍ)	４箱	各班１箱		－	八木氏より
18	ｱﾙﾐﾎｲﾙ1箱(8ｍ)	４箱	各班１箱	@165	660	○
19	台所洗剤(無りん)1本	４本	各班１本	@175	700	○
20	ホーミング1本	４本	各班１本	@90	360	○
21	蚊取り線香10巻	小４箱	各班１箱	@295	1180	○
22	亀の子タワシ	１個	各班１個	@180	720	○
23	ｽﾎﾟﾝｼﾞタワシ2種	計８個	各班計２個	@130	1040	○
24	ゴミ袋10枚入	４袋	各班10枚入１袋	@130	520	○
25	ビニール袋10枚、	計50枚	各班10枚		90	○
26	水切り用ビニール袋10枚	計40枚	各班10枚		165	○
27	ノート	25冊	各自1冊(本部5冊)			下坂SM
28	ティシュペーパー1箱	5箱	各班1箱		598	○

	品　目（支給する隊備品）	購入量	鷲	鵺	野牛	本部			
29	水しゃく	４本	No.1	No.2	No.3	No.4	@350	1400	
30	ポリバケツ2	８個	1・2	3・4	5・6	7・8	@ 198	792	○
31	ポリタンク2	８個	1・2	3・4	5・6	7・8	@ 980	7840	○
33	ザル大1小1	計８個	No.1	No.2	No.3	No.4	計@700	2800	○
34	洗面器1	４個	No.1	No.2	No.3	No.4	470	1880	○
35	替刃式折込ノコギリ	４本	No.1	No.2	No.3	No.4	@1950	7800	○
36	小型スコップ	４個	No.1	No.2	No.3	No.4	@ 980	3920	○
37	十字鍬(ｼﾞｭｳｼﾞｼｭｳ)	４本	No.1	No.2	No.3	No.4	@3000	12000	○
38	コンパネ(3×6)1枚	４枚	No.1	No.2	No.3	No.4	@1875	7500	○

ボーイスカウト京都第３８団 '92夏キャンプ静原

献立材料の配給量（班員数６人分目安）　★印＝後日分も含む

	鷲班	鯱班	野牛班	本部	合 計
先発の食糧（１２日夕、１３日朝） 先発の１３日昼食（ホカ弁等）	６人	７人	７人	６人	２６人分

第１日目配給品（１６：００）

牛肉	３００ｇ		３００	３５０	×２	１５００ｇ
ジャガイモ	１．５kg	★	１．５	１．７５	以下同じ	６．５kg
玉葱	２kg	★	２	２．３		８．６kg
人参	１kg	★	１	１．１７		４．３kg
糸こんにゃく 大	１袋		１			４袋
ほうれん草	３把		３	３．５		１３把
すり胡麻	５０ｇ		５０	５５		２１０ｇ
生ワカメ	１袋(300ｇ)	★	１			４袋
しらす干し	１袋(100ｇ)		１			４袋
たくあん	２本	★	２			８本

第２日目朝配給品（０６：００）

豆腐	１丁		１			４丁
万能ネギ	１把	★	１			４把
えのき茸	１袋		１			４袋
鰯の丸干し	１２匹		１２	１４		５２匹
鶏卵	１２個	★	１２	１４		５２個
キューちゃん漬け	１袋		１			４袋
牛乳(常温保存型)	１３ﾊﾟｯｸ	★	１３	１５		５６パック

第２日目昼配給品（１１：００）

しめじ	１パック		１			４パック
油あげ	１枚		１			４枚
白菜	１／８個		１／８			１／２個
生シイ茸	３個		３	３．５		１３個
キュウリ	３本		３	３．５		１３本
野沢菜漬け	１袋	★	１			４袋

第２日目夕配給品（１６：００）

豚肉	２４０ｇ		２４０	２８０		１０４０ｇ
クリームシチューの素1.5箱(６人前)			１．５	２		７箱
サンド豆	２パック		２			８パック
バナナ	３本		３	３．５		１３本
リンゴ	１個		１			４個
レタス	１個	★	１			４個
花らっきょう	１袋		１			４袋

第３日目朝配給品（０６：００）

アジのみりん干し	３枚		３	３．５		１３枚
納豆小パック	３個		３	３．５		１３個
牛肉のうま煮	２缶	(250g)	２	２		８缶
味付け海苔	１２袋		１２	１４		５２袋
梅干し	１２個		１２	１４		５２個
塩昆布	６０ｇ		６０	７０		６０ｇ

第３日目夕配給品（１６：００）

生鮭	６切れ		６	７		２６切れ
ボイル用ソーセージ	１２本		１２	１４		５２本
キャベツ	１／４個		１／４			１個
マヨネーズ小	１本		１			４本
レモン	１個		１			４個
バター	1/8ﾎﾟﾝﾄﾞ		１／８			1/2ポンド
コーン缶詰め	１缶		１			４缶
キュウリ・トマト	各３		３	３．５		各１３個

第４日目朝配給品（０６：００）

豚肉	１２０ｇ		１２０	１４０		５２０ｇ
薩摩芋	３本		３	３．５		１３本
花鰹パック	３袋		３	３．５		１３袋

第４日目昼配給品（１１：００）

ハム(真空パック)	１袋		１	１．２		５袋
トマト	３個		３	３．５		１３個
スライスチーズ	１袋		１	１．２		５袋
苺ジャム	小１瓶		１	１		４瓶
マーガリン	小６個		６	７		２６個
牛乳	６パック		６	７		２６パック
食パン	24切れ		２４	２８		８斤(12切)

ハイキング想定文

「気」の探査。

「気功術」といって、からだに触れないで、気合いだけで人を後ろに倒したり、前に引っ張り寄せたり、ガラスビンの中の風車を回すことが出来たり、身体の悪いところ治したりするころの出来る術があるのだが、その気功術のある先生によると、ここ静原は、たいそう「気」の強い所なのだそうだ。

昨日より、行動指令によって明らかになったハイキングコースは、この「気」を探査するために用意されたコースなのだ。静原の地が「気」の強いところであるという事の意味を探り出そうというものなのだ。

「気」とは、やる気、根気の気。元気、負けん気の気。気分が出る、気持ちが良いの気だ。人間これがないと、人間らしく生きて行けない。そのために、気が抜ける。気を落とす。気がない。と表している。また心配して、気になる。気を付けて。という。しかしそれは見ることが出来ないものであるため、探査はたやすいものではない。「鵜の目、鷹の目、狸の目」 スカウトの観察能力が力となることは確かだ。

そこで君たちは、各班毎、それぞれに「気」の探査にかかるのだ。そして多くの手掛りを収集し、「気」の強さの解明に力を注いほしいのだ。
班の仲間は協力して、慎重かつ冷静な行動をとることを忘れてはならない。さもなければ、この強い「気」のために進路を見つけることが出来なくなってしまうからだ。

さあ、以上の事を踏まえて出発するのだ。

諸君の豊かな探査報告を待っている。幸運を祈る。

1992.8.15 君たちの隊長より。

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

命の綱

とうとう開けてしまいましたね。君たちはこの地の「気」の強さに負けてしまったのです。

しかし、もう一度だけこの「気」に打ち勝つ望みがあります。
それは来た道を引返して、ポイント③にいる本部員と出合い指示を受けるのです。

それも出来ないときはもと来た道を引返して（③→②→①）15:50までに帰営することを努力すれば、この「気」強い世界からの脱出が可能だということです。

くれぐれも、ポイント②の東側の谷を進もうとしてはいけません。この谷はさらに「気」が強く、とうてい時間内には帰営出来なくなるからです。
（本部員が下見の際、えらい目にあっていることだけは知らせておきます。）

さらばじゃ。幸運を祈る。

1992.8.15　隊長より。

ハイキング行動指令書

1．まずハイキング基点（広場）が、1/25000の地形図
「大原」（NI-53-14-2-3）の１km方眼の６桁座標
（０５２，０４１）になることを確認せよ。
2．ポイント①＝同じく座標（０４５，０４２）三叉路
ポイント②＝ポイント①より方位角２度，直線距離２３２５ｍの頂上
ポイント③＝同じく座標（０４６，０６９）送電線下
ポイント④＝同じく座標（０５５，０６３）・６０４
ポイント⑤＝同じく座標（０５９，０４７）三叉路
ポイント⑥＝同じく座標（０５６，０４５）三叉路
この各ポイントを地図上に示せ。
ポイント②③⑤⑥付近にて指示書を探し、その指示に従え。

3．ポイント①－②、③－⑤、⑤－⑥の 各２点間の高低差を求めよ。

4．この各点を順に通過し帰営するコースの距離読み、時間読みをせよ。

5．帰営は15:20～15:50の間にせよ。（早くても遅くてもダメ）
6．14:00までにポイント④を通過できないと判断した時は「命の綱」を開封し、その指示に従え。しかし可能なかぎり開封しなくて済むように心がけよ。
7．帰営後、直ちに報告書を作成し16:30に提出せよ。
8．以上の内、１．２．３．４．の作業結果の承認を、前日に隊長から受け出発せよ。
9．その他の行動は「ハイキングのおきて」に従え。

以上。

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

ハイキングのおきて

1 ハイキング中は、スカウトの名誉を保つよう行動する。

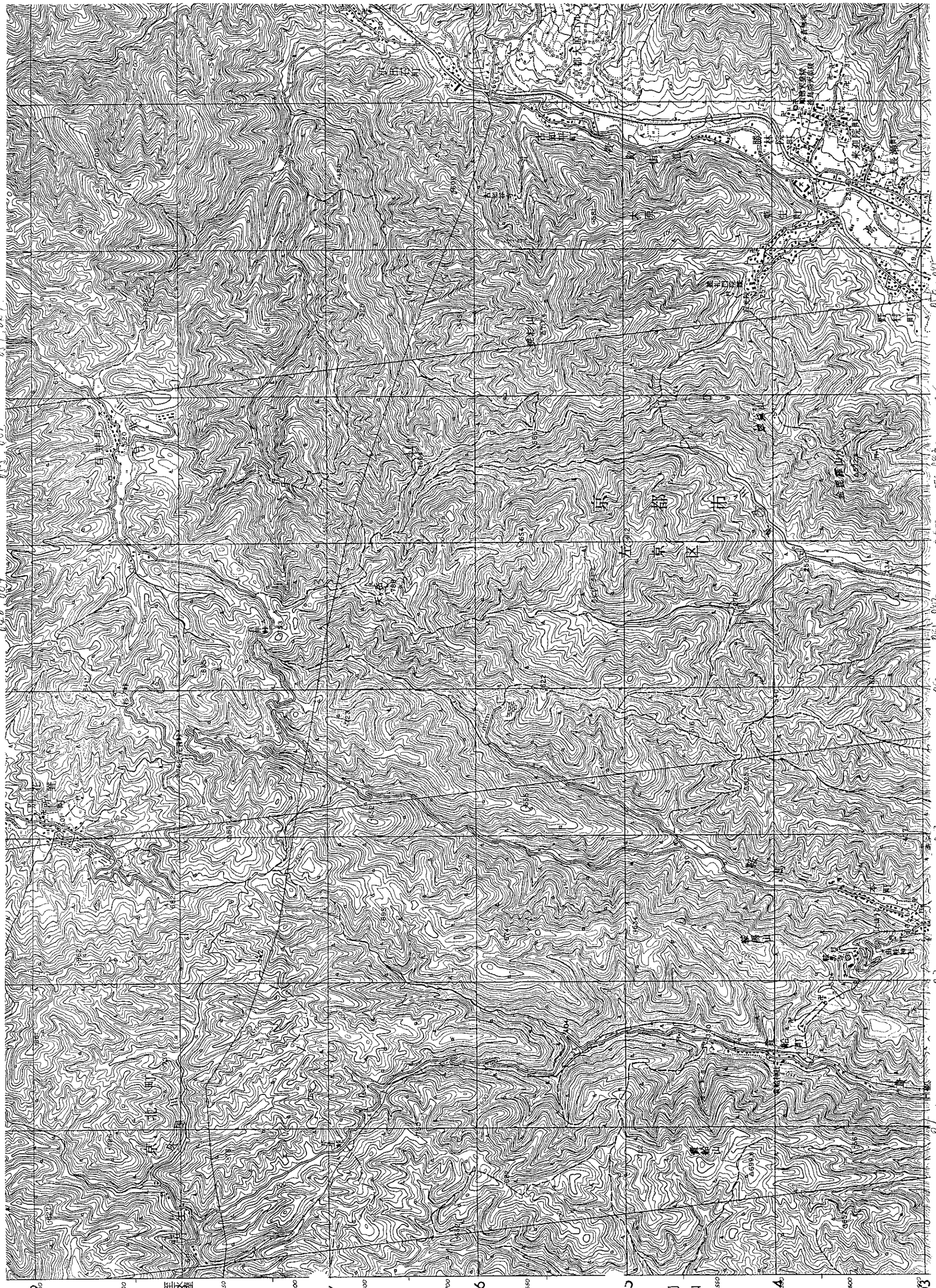
2 人の力を頼りにせず、自己の最高のの能力、体力を発揮しチームワークを図る。

3 常に事故防止に心がけ、行動の安全を図ること。

4 班善行の機会を見つけること。

5 自分達の可能性を信じ、他の班との接触は避けること。

6 鋭い観察記録は、スカウトのハイキングのまとめ。
「鷹の目」による、豊かな報告書の提出を期待している。


東京都
石川県
長野県
日本海
高山市
飛騨高山
高山駅
上宝村
奥飛騨温泉郷
平湯温泉
平湯峠
乗鞍岳
焼岳
穂高岳
槍ヶ岳
笠ヶ岳
白川郷
荘川村
白川村
富山県
岐阜県
長野県
東京都
石川県
富山県
岐阜県
長野県
東京都
石川県
富山県
岐阜県
長野県
東京都
石川県

指示書

第　１　信

□班のここの到着時間は□：□（各班で記入）

ここは、静原エリアの最も高い場所である。
「気」が強いエリアであることを感じるだろう。
12＋３，６＋２，13，３，１＋12，６＋２，３，８＋６，６＋９，１＋９，
１＋２＋３，８＋１，１＋３，１＋２(白)＋１。(課題Ⅰ)
①　・７８８の道標をスケッチし、(課題Ⅱ)
②　取り付けてある道案内の方向板の方位角を計れ。(課題Ⅲ)

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

指示書

第　２　信

□班のここの到着時間は□：□（各班で記入）

ここで、ハイキングコースの半分を経過した。
さらに強い「気」があることを感じるだろう。
先ず、昼食をとれ。
その後、次の作業を行なったのち、再スタートの指示を受けよ。

①　強い「気」を感じる各自異なる木の葉を選んでプリントせよ。(課題Ⅳ)
②　同封の細長い紙に、「気」という言葉を使って、半分が過ぎたところでの自分の気持ちを表した俳句または川柳をつくり、この場所にいる本部員に渡せ。(課題Ⅴ)
班名、氏名を記入し

□班のここの出発時間は□：□。

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

指示書

第　３　信

□班のここの到着時間は□：□（各班で記入）

ここで、ハイキングコースの８０％を経過した。
次の作業を行なったのち、□：□にここに戻って再スタートの指示を受けよ。

①　南方・４７４に進み、さらに南の尾根を登って、見晴らしの良いところを選んで、南東方向を、ていねいにスケッチせよ。(課題Ⅵ)

□班のここの出発時間は□：□。
この先さらに強い「気」があることを感じるだろう。

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

指示書

第　４　信

□班のここの到着時間は□：□（各班で記入）

ここで、ハイキングコースの９７％を経過した。
次の作業を行なったのち、15:20～15:50の間に帰営出来るよう再スタートせよ。

①　同封の細長い紙に、「気」という言葉を使って、”今の自分”の気持ちを表した俳句または川柳をつくり、帰営時に班でまとめて隊長に提出せよ。(課題Ⅶ)
②　時間調整中に班報告書（各自は感想分など）を作成せよ。(課題Ⅷ)
（帰営は15:20～15:50の間にすること。早くても、遅くてもダメ）

□班のここの出発時間は□：□。

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

ハイキング採点表

No.	採点項目		基準点	鷲班	鯱班	野牛班	備考
1	班サイト整理		5				
2	出発時刻		5				
3	作業	ポイントの確認	5				
		ポイントの高低差	5				
		コースの距離読み	5				
		コースの時間読み	5				
4	課題	課題Ⅰ(暗号解読)	5				
		課題Ⅱ(道標スケッチ)	5				
		課題Ⅲ(方向板方位角)	5				
		課題Ⅳ(木の葉プリント)	5				
		課題Ⅴ(俳句1)	5				
		課題Ⅵ(大原スケッチ)	5				
		課題Ⅶ(俳句2)	5				
		課題Ⅷ(感想文)	5				
5	命の綱		△２０				
6	帰営時刻		１０				
7	ハイキング報告書		１０				
9	スマートネス		5				
10	自然愛護		5				
11	ルール遵守		１０				
12	班善行		5				
13	チームワーク		5				
合計			100				

ボーイスカウト京都第３８団 夏季キャンプ '92 静原

時刻確認

	鷲班	鯱班	野牛班
野営地出発時刻	:	:	:
ポイント①通過	:	:	:
ポイント②	:	:	:
ポイント③到着	:	:	:
ポイント③出発	:	:	:
ポイント⑤到着	:	:	:
ポイント⑤出発	:	:	:
帰営時刻	:	:	:
所要時間	:	:	:

ボーイスカウト京都第３８団隊キャンプ用

健康安全カード

平成　年　月　日記入

組班	氏名	保護者名　　印

睡眠	就寝時間	午後　時　分頃	ねつき	よい　ふつう　わるい
	夜間	寝言	いう　いわない　時々いう	
		歯ぎしり	する　しない　時々する	
		寝小便	する　しない　時々する	
		就寝中ねぼけ	する　しない　時々ある	
	起床時間	午前　時　分頃	ねおき	よい　ふつう　わるい
	昼寝	する　しない　時々する（　）時間程度		
食事	アレルギーを起こす食べ物	ない　ある（　）		
	嫌いな食べ物	ない　ある（　）		
	食事の量	多い　普通　少ない		
排便	大便	毎日ある　不定　時間　朝　昼　夕　不定		
	便秘	する　しない　時々する		
健康	日常の体温	大体　．　℃	日常の脈拍　大体　回／分	
	乗り物酔い	する　しない　時々する（乗り物　）		
	かかりやすい病気	持病		
	保護者からの注意事項			

緊急連絡先	住所　電話 名称
かかりつけの医師	住所　電話 名称
保険証	種類　番号　（コピーも持参のこと）
血液型	・A　・B　・O　・AB型　RH　・＋　・－
最近１ヵ月の健康状態	・非常に健康である。　・健康である。 ・病気をした（病名　）今、薬を飲んで・いる。・いない。

最近の健康診断（　年　月）では　・異常なし　・異常あり（病名　）

ジュワ・ファイト(ファー!)

夏CAMP反省会

8/17. 18:00

6 入矢、山田、末吉、西野、西口、西村
4. 江本、石治、八木、月里
5. 松野、山田、江本、吉田、藤岡

下坂SM.
八木、出口除外、中野、
末吉SSL、末吉RS

ウシ班.
天ケ岳 みどりの樹々に まよいみち 入矢
青い空 おいしい空気 まよいみち 西村
ハイキング はやく家に 帰りたい 山田 哲
夏の空 流れる川に 鳥の声 末吉
ハイキング 小鳥の声や 風の声 西野けいた
ハイキング、みちに まよって かえれない 西口

シャチ班
山の傾面、ケガ人のぼれば やる気なし 山本
げんきだし のこりの道を 歩もうぞ 西野洲人
川の水 きもちがよくて 元気でる 江本勝
元気をだせ のこりの道を 歩けるはずだぞ 石治
気功術 やる気に元気 かんばる気 八木功
もう半分 残りの元気で かんばるぞ 月里
阿部

野牛班.
静原の ハイキングにて 道 まよう 松野
ハイキング、道に迷ったし、最悪だ 山田
天ケ岳 昼飯食べすぎて うごけない 江本勝
ゴミおおし、夏のキャンプや 川のゴミ 山本
ハイキング 小鳥の声や 風の音 吉田
静原で、いろんな虫が ハイキング中 おおかった 藤原
がけで おちたり.

ウシ、暑くて しんどかった. 西村. 3泊4日だけに 楽しかった
西野 しんどいことも多かったが. 西口 来年も行きたい
シャチ、江本、泊まりまでいった. 石治、始めてかなり成長した 月里 個人優勝!! 嬉しい
八木 3/4 疲れかけたが 思い出になった
野牛、松野 自分ではげんばれた 山田 反省点を思い出した。おもしろかった
江本 ハイキングはつかれたが 楽しかった 吉田 長距離 おもしろかった 藤岡 3/4 大変と思ったが 楽しかった

上班. ハイキングは これからも生かしたい.
出口 けじめがつけられてない. 楽しくやるのは良いが
八木. 3/4 ちかく、全力でやって良かった.
中. 3/4 初日の雨は良
すべての天候を楽しめた
自分をみつめる機会

8/28. 19:30 G 集会

末吉 おやじ 様

第35回ボーイ隊夏季キャンプ

Staff Program

京都第38団ボーイスカウト隊

於　静原
いまみやの森

1992
平成4年8月13日(木)
～ 16日(日)

第35回ボーイ隊夏季キャンプ 実施要項

- 実施年月日　平成四年八月十三日(木) ～ 十六日(日)
- 実施場所　京都市左京区静市静原町　静原川上流
  「静原の里　いまみやの森」
- 主　催　京都第三十八団々委員会
- 主　管　京都第三十八団 ボーイ隊々本部
- 責任者　京都第三十八団ボーイ隊々長　下坂直司
- 本部
  - 隊長　下坂直司(総責任、会計、健康安全)
  - 副長　末吉央伯、角井輝信、中村三之助(炊事)
  - 上班　伊藤良崇(スカウト統括　行事企画　運営)
  - 隊付　出口浩平、八木立夫(配給、行事企画、運営)
- メインテーマ　「森とともに」
- サブテーマ　「鵜の目、鷹の目、狸の目」
- 緊急連絡先
  - 末吉央伯 S.S隊副長宅　441-5303
  - ポケットベル　075.838.1515
  - 角井輝信 ポケットベル　06.250.3439
- 先発隊集合　8月12日 午後2時　ハウス長休
- 本隊集合　8月13日 午前9時　出町柳
- 解散予定　8月16日 午後5時30分　ハウス長休
- 交通機関　京都バス

・沿北 廣昭

☆ 設営に関する注意事項

- 各班、割り当てられた場所に設営すること。それ以外の場所に設営をしてはならない。
- 設営作業中は、作業服（制服以外）・作業帽（キャップ）・軍手を必ず着用すること。
- 班サイト内の雑草は刈り取ってもかまわないが、立木を切り倒したり、傷つけたりしないこと。
- 立木にロープや紐引などを巻き付ける場合は、必ず新聞紙などを巻いて立木を保護すること。
- 工具などの取り扱いおよび保管については、常に注意をすること。

☆ 生活全般に関する注意事項

- 活動は、あくまでも班行動である。
- プログラムを常に把握し、5分前集合を心掛ける事。
- セレモニーおよび特別に指示があった場合以外は、制服正帽を着用しないこと。
  ただし、班サイトを出る時は、チーフとキャップを必ず着用すること。
- 本部サイトに来る時は、入口で大きな声で班名と名前を告げ、指示があってから中へ入ること。
- 国旗降納は、毎日１８：００に行なう。したがって、当番班の担当者は１７：５０に制服正帽で、上班に準備が出来た事を連絡し、降納を行なう。（掲揚については、朝礼時に行なう）
- 午睡の時間は、健康管理のために、きっちりと睡眠をとるように心掛けること。
- 飲料用水は、常に、班サイトに保有しておくこと。
- 薪は、本部が時間を決めて若干配給するが、必要に応じて、班で拾い集めて保管すること。
- ゴミは、班で、出来る限り焼却すること。
- テント内で、火を使用しては絶対にいけない。（蚊とり線香やロウソクなど）
- 自己の安全と健康管理には、十分に気を配ること。

○ 点検担当者　　隊長、上班、他1人　講評者、

○ 開所式プログラム

実施日時	平成4年 8月 13日 木曜日 11時 00分 ～ 12時 00分		
内　容	開所式および設営に関する事項	司会	

時間	式次第	担当	内容詳細　　『　』内は司会者の言葉
00:00	全員集合	上班	① 広場にU字隊形に集合。 ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『只今から、第34回 京都第３８団ボーイスカウト隊 夏季キャンプ 開所式をおこなう。』
	黙　想	司会	①『全員、その場で脱帽・・・合掌・・・礼拝』 ②『解いて・・・着帽』
	国旗掲揚	隊付（出口）（八木）	①『国旗掲揚』 → 掲揚手２名ポール直下へ走り寄り、掲揚の準備。 ②『全員ポールに正面』 ③ 掲揚手の準備完了の合図の後、隊長が「あげ！」の合図 → 全員敬礼 → 国旗が冠頭につくと同時に敬礼をおろす。 ④ 『元の位置へ』 → 掲揚手は作業を完了し自席へ
	連盟歌斉唱	隊付（伊藤）	『連盟歌斉唱』 → ソングマスターは、その場で歌い始める。 それにつづいて全員で斉唱。２番まで。
	隊長挨拶	隊長	『隊長のあいさつ』 開会宣言を含む内容。 引き続いて、スタッフ紹介を行なう。
	スタッフ紹介	隊長	各リーダーのキャンプにおける任務も併せて紹介する。 紹介されたリーダーは、U字隊形の前に出て一言づつ挨拶をする。
	当番班任命	隊長	『当番班の任命を行なう。第１日目当番班ヤギュウ班全員前へ。』 → 当番班は隊長の前に整列。 → 当番班章の授与 → 当番班の任務を班長が大きな声で読みあげる。
	ソング、「京都のスカウト」	隊付（出口）	『ソング』 → ソングマスターはU字隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
00:20	閉式の辞	司会	『これをもって、第3　回 京都第３８団ボーイスカウト隊 夏季キャンプ 開所式を終わる。引き続き、設営に関する諸注意。』
	設営関連事項		設営に関する注意事項の説明を行なう。（別項参照）
	設営宣言	隊長	『設営宣言』 → 隊長はU字隊形の前へ出て、設営開始を宣言する。
00:30	解　散		解散後、上班は各班の班長に今後の指示を与える。

☆第2日目 点検・講評・朝礼プログラム

実施日時	平成4年 8月 14日 金曜日 8時00分 ～ 8時55分
内 容	各班サイトにて点検後、広場にて、昨日から今朝にかけての講評と朝礼を行なう。
ねらい	一日の最初なので、気持ちを引き締めるべく、緊張感のある儀式的セレモニーをねらう。

【本日の点検】 8時00分 ～ 8時25分 各班サイトにて

( )
⇩
( )
⇩
( )

各班、7～8分ぐらいで終える。

本日は、左記の順番で点検を行なう。ただし、定刻になっても準備が出来ていない班については、順番に関わらず、後回しにする。

《内 容》

- 講評者は、次長の案内でサイト内を巡回し、昨日から今朝までの進歩した点・改善した点、について聞き、講評をする。
  また、今後のアドバイスも同時に行なう。
- その間、隊長と上班は、班報告書を回収し、班員の健康チェックや班員の激励などをする。

《担 当》 講評・アドバイス（副長），班報告書回収・健康（隊長），隊旗手（上班）

司会（ ）

時間	式次第	担当	内容詳細 「 」内は司会者の言葉
8:30	全員集合	上班	① 広場にU字隊形に集合。（朝礼時の位置とは異なった場所に） ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『昨日から今朝にかけての講評を行なう。』
	講 評	副長	① 各班ごとに、昨日から今朝にかけての講評をする。 ② 講評者は、キャンプ第1日目の優秀班を隊長に報告。 →「以上の様な点を評価し、キャンプ第1日目優秀班を○○班にいたします。」 ③『○○班全員、前へ』
	優秀班表彰	隊長	優秀班賞の授与。
	弥栄三唱	司会	『○○班、夏季キャンプ第1日目優秀班おめでとう 弥栄 弥栄 弥栄』
8:40	解 散	上班	上班は、解散後直ちに、朝礼の位置にて集合の合図を吹く。

	式次第	担当	内容詳細 『 』内は司会者の言葉
8:40	全員再集合	上班	① 広場（ポール前）にU字隊形に集合。 ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『只今から、キャンプ第2日目 朝礼 を行なう。』
	黙 想	司会	①『全員、その場で脱帽・・・合掌・・・礼拝』 ②『解いて・・・着帽』
	国旗掲揚	当番班 2名	①『国旗掲揚』 → 掲揚手2名ポール直下へ走り寄り、掲揚の準備。 ②『全員ポールに正面』 ③ 掲揚手の準備完了の合図の後、隊長が「あげ！」の合図 → 全員敬礼 → 国旗が冠頭につくと同時に敬礼をおろす。 ④『元の位置へ』 → 掲揚手は作業を完了し自席へ
	ソング	隊付（小木）	『ソング』 → ソングマスターはU時隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	隊長の話	隊長	『隊長の話』
	朝の言葉	（伊藤）	『朝の言葉』 → 担当者は、U字隊形の前にて、短めの挨拶をする。
	ソング	隊付（小木）	『ソング』 → ソングマスターはU字隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	当番班交代	上班	『当番班の交代を行なう。昨日の当番班 ヤギュウ班 本日の当番班 ワシ班 全員、前へ。』 → 上班の前に両班が向かい合うように整列。→ 敬礼 → 昨日の当番班々長「当番班の任務」を朗読。 → 一言、激励の言葉を贈り、本日の当番班々長へ当番班章を手渡す。 → 本日の当番班々長「当番班の任務」を朗読。→ 敬礼 → 自席へ
	閉式の辞	司会	『これをもって、キャンプ第2日目朝礼を終わる。・・・・今後の指示
	今後の指示	上班	解散後の指示を与える。
8:55	解 散		

Memorandum

優秀綬　担当表

総合優秀	(隊長)
1日目 :	( )
2日目 :	(伊藤)
3日目 :	( )
4日目 : (ハイキング兼用)	
第2日目隊プロ(午前、午後共通)	(八木、)
夜間ゲーム (10人、班) 計2ッ	(出口)
最優秀10人	(隊長)
大焚火	( )

第2日目 隊プロ ③

平成四年八月十四日(金)　場所 いまみやの森周辺 及び 班サイト

時間. A.M 9:00 ～ P.M 0:00

主要目標. 訓練を用いたゲーム

ねらい. キャンプ始って間もないので 班を活気立たせる
又、班のチームワーク向上と ロープワーク、など 試験課目の応用

第2日目　隊プロ ④

平成4年8月14日　(金)　　場所　いまみやの森周辺

時間　P.M 1:00 ～ P.M 5:00

主要目標　午前中の班訓練の応用ゲーム

ねらい　スカウト達は初めてするゲームで いかに正確に早く
できるか、競う、また なぜ できなかったかを理解させる

第2日目　隊プロ ⑤

平成4年8月14日　(金)　　場所　いまみやの森周辺

時間　P.M 19:30 ～ P.M 21:00

主要目標　五感ゲームに夜間キムス

ねらい

☆第3日目 点検・講評・朝礼プログラム

実施日時	平成4年 8月 15日 土曜日 8時00分 ～ 8時55分
内 容	各班サイトにて点検後、広場にて、昨日から今朝にかけての講評と朝礼を行なう。
ねらい	一日の最初なので、気持ちを引き締めるべく、緊張感のある儀式的セレモニーをねらう。

【本日の点検】 8時00分 ～ 8時25分 各班サイトにて

( )
⇩
( )
⇩
( )

各班、7～8分ぐらいで終える。

本日は、左記の順番で点検を行なう。ただし、定刻になっても準備が出来ていない班については、順番に関わらず、後回しにする。

《内 容》

・講評者は、次長の案内でサイト内を巡回し、昨日から今朝までの進歩した点・改善した点、について聞き、講評をする。
また、今後のアドバイスも同時に行なう。

・その間、隊長と上班は、班報告書を回収し、班員の健康チェックや班員の激励などをする。

《担 当》 講評・アドバイス（副長），班報告書回収・健康（隊長），隊旗手（上班）

司 会（ ）

時間	式次第	担当	内容詳細 『 』内は司会者の言葉
30	全員集合	上班	① 広場にU字隊形に集合。（朝礼時の位置とは異なった場所に） ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『昨日から今朝にかけての講評を行なう。』
	講 評	副長	① 各班ごとに、昨日から今朝にかけての講評をする。 ② 講評者は、キャンプ第1日目の優秀班を隊長に報告。 →「以上の様な点を評価し、キャンプ第1日目優秀班を○○班にいたします。」 ③ 『○○班全員、前へ』
	優秀班表彰	隊長	優秀班賞の授与。
	弥栄三唱	司会	『○○班、夏季キャンプ第1日目優秀班おめでとう 弥栄 弥栄 弥栄』
8:40	解 散	上班	上班は、解散後直ちに、朝礼の位置にて集合の合図を吹く。

	式次第	担当	内容詳細 『 』内は司会者の言葉
8:40	全員再集合	上班	① 広場（ポール前）にU字隊形に集合。 ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『只今から、キャンプ第2日目 朝礼 を行なう。』
	黙 想	司会	①『全員、その場で脱帽・・・合掌・・・礼拝』 ②『解いて・・・着帽』
	国旗掲揚	当番班 2名	①『国旗掲揚』 → 掲揚手2名ポール直下へ走り寄り、掲揚の準備。 ②『全員ポールに正面』 ③ 掲揚手の準備完了の合図の後、隊長が「あげ！」の合図 → 全員敬礼 → 国旗が冠頭につくと同時に敬礼をおろす。 ④ 『元の位置へ』 → 掲揚手は作業を完了し自席へ
	ソング	隊付（八木）	『ソング』 → ソングマスターはU時隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	隊長の話	隊長	『隊長の話』
	朝の言葉	（出口）	『朝の言葉』 → 担当者は、U字隊形の前にて、短めの挨拶をする。
	ソング	隊付（八木）	『ソング』 → ソングマスターはU字隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	当番班交代	上班	『当番班の交代を行なう。昨日の当番班 ヤギュウ班 本日の当番班 ワシ班 全員、前へ。』 → 上班の前に両班が向かい合うように整列。→ 敬礼 → 昨日の当番班々長「当番班の任務」を朗読。 → 一言、激励の言葉を贈り、本日の当番班々長へ当番班章を手渡す。 → 本日の当番班々長「当番班の任務」を朗読。→ 敬礼 → 自席へ
	閉式の辞	司会	『これをもって、キャンプ第2日目朝礼を終わる。・・・・今後の指示』
	今後の指示	上班	解散後の指示を与える。
8:55	解 散		

Memorandum

第4日目 点検・講評・朝礼プログラム

実施日時	平成4年 8月 16日 日曜日 8時00分 ～ 8時55分
内 容	各班サイトにて点検後、広場にて、昨日から今朝にかけての講評と朝礼を行なう。
ねらい	一日の最初なので、気持ちを引き締めるべく、緊張感のある儀式的セレモニーをねらう。

【本日の点検】 8時00分 ～ 8時25分 各班サイトにて

（ ）
⇩
（ ）
⇩
（ ）

各班、7～8分ぐらいで終える。

本日は、左記の順番で点検を行なう。ただし、定刻になっても準備が出来ていない班については、順番に関わらず、後回しにする。

《内 容》

- 講評者は、次長の案内でサイト内を巡回し、昨日から今朝までの進歩した点・改善した点、について聞き、講評をする。
  また、今後のアドバイスも同時に行なう。
- その間、隊長と上班は、班報告書を回収し、班員の健康チェックや班員の激励などをする。

《担 当》 講評・アドバイス（副長），班報告書回収・健康（隊長），隊旗手（上班）

司会（ ）

時間	式次第	担当	内容詳細 『 』内は司会者の言葉
8:30	全員集合	上班	① 広場にU字隊形に集合。（朝礼時の位置とは異なった場所に） ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『昨日から今朝にかけての講評を行なう。』
	講 評	副長	① 各班ごとに、昨日から今朝にかけての講評をする。 ② 講評者は、キャンプ第1日目の優秀班を隊長に報告。 →「以上の様な点を評価し、キャンプ第1日目優秀班を○○班にいたします。」 ③『○○班全員、前へ』
	優秀班表彰	隊長	優秀班賞の授与。
	弥栄三唱	司会	『○○班、夏季キャンプ第1日目優秀班おめでとう 弥栄 弥栄 弥栄』
8:40	解 散	上班	上班は、解散後直ちに、朝礼の位置にて集合の合図を吹く。

	式次第	担当	内容詳細 『 』内は司会者の言葉
8:40	全員再集合	上班	① 広場（ポール前）にU字隊形に集合。 ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『只今から、キャンプ第2日目 朝礼 を行なう。』
	黙 想	司会	①『全員、その場で脱帽・・・合掌・・・礼拝』 ②『解いて・・・着帽』
	国旗掲揚	当番班 2名	①『国旗掲揚』 → 掲揚手2名ポール直下へ走り寄り、掲揚の準備。 ②『全員ポールに正面』 ③ 掲揚手の準備完了の合図の後、隊長が「あげ！」の合図 → 全員敬礼 → 国旗が冠頭につくと同時に敬礼をおろす。 ④『元の位置へ』 → 掲揚手は作業を完了し自席へ
	ソング	隊付（八木）	『ソング』 → ソングマスターはU時隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	隊長の話	隊長	『隊長の話』
	朝の言葉	（末吉）	『朝の言葉』 → 担当者は、U字隊形の前にて、短めの挨拶をする。
	ソング	隊付（出口）	『ソング』 → ソングマスターはU字隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	当番班交代	上班	『当番班の交代を行なう。昨日の当番班 ヤギュウ班 本日の当番班 ワシ班 全員、前へ。』 → 上班の前に両班が向かい合うように整列。→ 敬礼 → 昨日の当番班々長「当番班の任務」を朗読。 → 一言、激励の言葉を贈り、本日の当番班々長へ当番班章を手渡す。 → 本日の当番班々長「当番班の任務」を朗読。→ 敬礼 → 自席へ
	閉式の辞	司会	『これをもって、キャンプ第2日目朝礼を終わる。・・・・今後の指示。
	今後の指示	上班	解散後の指示を与える。
8:55	解 散		

Memorandum

☆スカウツオウンプログラム

実施日時	平成4年 8月 16日 日曜日 8時 45分 ～ 8時 55分
ねらい	真宗大谷派のスカウツオウンの形式を通じて、本キャンプを考察し、それによって信仰心を持つことの大切さを少しでも理解出来るようになることをねらう。
準備品	各個人で念珠と大谷スカウト手帳を持参する。

時間	式次第	担当	内容詳細　『　』内は司会者の言葉
9:00	開式の辞	司会	朝礼に引き続いて行なう。 『只今から、スカウツオウンを行なう。』
	讃歌「衆会」	導師	『讃歌 衆会』 → 導師はU字隊形の前へ出て合掌し、始めの一句を導唱する。 導師は自席に戻らず、その場にいる。
	黙想	司会	『全員、その場で脱帽・・・一同合掌』 → 脱帽、合掌のままで
	三帰依	導師	『脱帽、合掌のまま三帰依』 → 復唱法により唱和する。 唱和を終えたら、『合掌を解いて』 → 導師は自席へ戻る。
	ちかいとおきて唱和	班長	『ちかいとおきて唱和』 → 当番班々長はU字隊形の前へ出て、スカウトサインをして唱える。 復唱法により唱和する。
	法話	隊長	『法話』 → 隊長はU字隊形の前へ
	讃歌「恩徳讃」	導師	『讃歌 恩徳讃』 → 導師は、その場で始めの一句を導唱。
	黙想	司会	『一同合掌・・・礼拝・・・解いて・・・着帽』
	閉式の辞	司会	『これをもって、スカウツオウンを終わる。・・・・今後の指示。』
	今後の指示	上班	解散後の指示を与える。
9:25	解散		

司会		導師	

第35回ボーイ隊夏季キャンプ

隊プログラム No.5　夜間ゲーム解答用紙

A（聴）＿＿＿、＿＿＿、＿＿＿、＿＿＿、＿＿＿

B（味）＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿

C（臭）＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿

D（触）＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿

E（視）

班名＿＿＿班　名前＿＿＿＿＿

閉所式プログラム

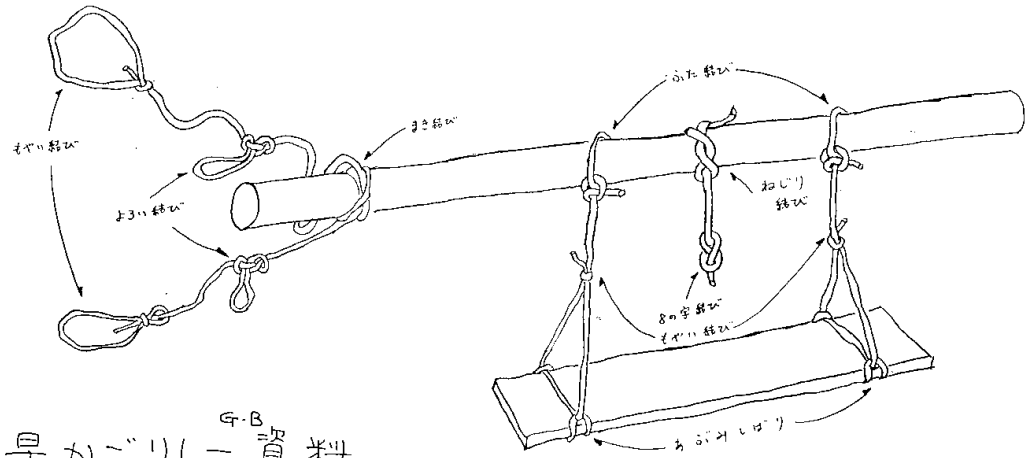
実施日時	平成4年 8月 16日 日 曜日 14時30分 ～ 14時55分
内 容	キャンプ全体の講評と閉所式

時間	式次第	担当	内容詳細　『 』内は司会者の言葉
12:30	全員集合	上班	① 広場にU字隊形に集合。 ② 各班報告 → 上班 → 隊長
	開式の辞	司会	『只今から、第３３回 京都３８団ボーイスカウト隊 夏季キャンプ 閉所式を行なう。』
	黙　想	司会	①『全員、その場で脱帽・・・合掌・・・礼拝』 ②『解いて・・・着帽』
	ソング「光の路」	隊付（出口）	『ソング』 → ソングマスターはU字隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。２番まで。
	総合講評	副長	① キャンプ全体を通しての全体講評を行なう。 ② 講評者は総合優秀班を隊長に報告。→ 「以上の様な点を評価し、第３３回 夏季キャンプ 総合優秀班を○○班にいたします。」 ③『○○班全員、前へ』
	総合優秀班表彰	隊長	総合優秀班賞の授与。
	弥栄三唱	司会	『○○班、夏季キャンプ 総合優秀班 おめでとう 弥栄 弥栄 弥栄』
	個人優秀賞発表	司会	『個人優秀賞の発表。呼ばれた者は、返事をして前へ ○○班○○君』
	個人優秀賞表彰	隊長	隊長は、ひとこと講評をして、個人優秀賞を授与。
	弥栄三唱	司会	『○○君、夏季キャンプ 個人優秀賞 おめでとう 弥栄 弥栄 弥栄』
	ソング「歓喜に寄する頌」	隊付（出口）	『ソング』 → ソングマスターはU字隊形の前へ出て指揮をとり、歌い始める。それにつづいて全員で斉唱。
	隊長挨拶	隊長	『隊長のあいさつ』 閉会宣言を含む内容。 しかし、備品整理までキャンプである。
	当番班解任	隊長	『当番班の解任をおこなう。第５日目当番班 ワシ班 全員前へ。』 → 当番班は隊長の前に整列。→ 当番班章の返還 → 隊長の言葉 「只今をもって、当番班を解任する。」

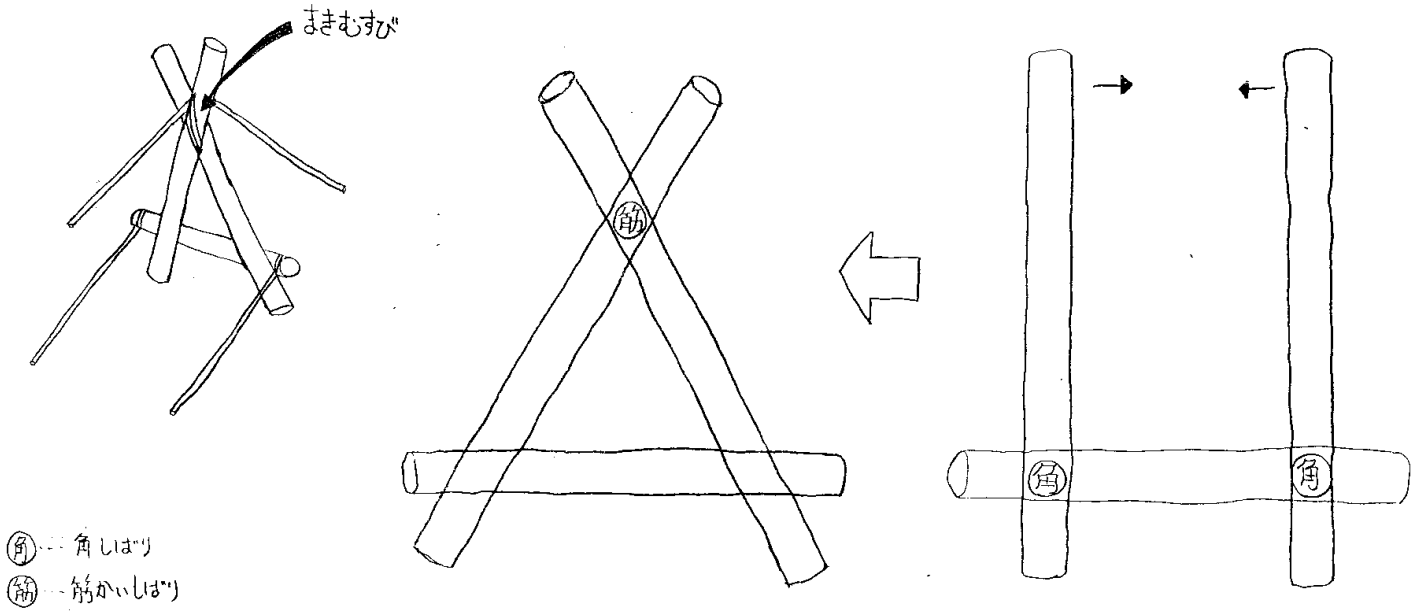
時間	式次第	担当	内容詳細　『 』内は司会者の言葉
	弥栄三唱	司会	①『キャンプ地に感謝の気持ちをこめて弥栄を贈ります。』 ②『４泊５日、どうもありがとう 弥栄 弥栄 弥栄』
	連盟歌斉唱	隊付（八木）	『連盟歌斉唱』 → ソングマスターは、その場で歌い始める。 それにつづいて全員で斉唱。２番まで。
	国旗降納	隊付（　）（　）	①『国旗降納』 → 降納手２名ポール直下へ走り寄り、降納の準備。 ②『全員ポールに正面』 ③ 降納手の準備完了の合図の後、隊長が「おろせ！」の合図 → 全員敬礼 → 国旗が降りたら敬礼をおろす。 ④『元の位置へ』 → 降納手は、素早く自席に戻り国旗をたたむ。
	閉式の辞	司会	『これをもって、第３３回 京都第３８団ボーイスカウト隊 夏季キャンプ 閉所式を終わる。・・・・今後の指示。』
	今後の指示	上班	解散後の指示を与える。
12:55	解　散		

Memorandum

[illegible]



早かごりレー資料 G.B



ピラミッド渡河作戦資料 G.B